

- 日時 平成 28 年 4 月 12 日（火）15 時 5 分～16 時 45 分
- 場所 市役所第 5 会議室
- 出席者 （敬称略、順不同）
（会長）渡邊忠貴、（副会長）森谷紀子、秋山寿子、石井昭子、七海耕一
- 欠席者 若狭秀巳、磯野昌子、森川いつみ、川嶋名津子、山道宗晃
- 事務局 若菜市民協働部長（冒頭挨拶）
阿万野文化スポーツ課長 黒羽係長、鬼原主事
- 会議の公開・非公開 公開
- 傍聴人の有無 1 人
- 記録 鬼原 平成 28 年 4 月 13 日作成

- 議題 （1）『（仮称）逗子アーカイブス』の推進について
（2）その他
・新メンバー（市民委員）の募集について

■配布資料

- ・名簿
- ・会議次第
- ・平成 27 年度第 3 回会議での意見（主なもの）
- ・平成 28 年度第 1 回会議「（仮称）逗子アーカイブス」の推進について
（パワーポイント資料）

■会議に先立ち視察 13 時 15 分～14 時 50 分

- ・郷土資料館
- ・旧脇村邸
- ・図書館
（視察参加者）渡邊会長、秋山メンバー、森川メンバー、七海メンバー

■議事

1 開 会

- ・・・配布資料の確認・・・
- ・・・出欠の確認・・・
- ・・・新所管部長の紹介・・・

2 議 題

(1)「(仮称) 逗子アーカイブス」の推進について

<会長>

先ほど旧脇村邸などの視察をしてきたが、感想を聞かせていただきたい。

<七海メンバー>

郷土資料館は3度目の見学になるが、担当の方に有意義な話を聞かせていただいた。ただ資料の保管には、環境的に難しい部分があるかなと思った。離れも見たが、やはり環境的に厳しい。展示している資料はとても興味深く大切なものだった。旧脇村邸は市の保有になった後活用の仕方を検討しているということだが、空調設備が整備されていないとのことで、きちんと整備をし、一般の方も入れるようにすればよいと思った。蔵の方は資料保管には使えるのではと思った。行政資料は置いてあったが、ここもきちんと整えれば使いそうだった。図書館は整理がきちんとされていた。行政文書からサークル活動などの資料まできちんと保管されていて、とてもよいと思った。古い写真を見せていただいたが、袋に入って保管されているような状態なので、そのまま劣化してしまっただけはないと思った。

<石井メンバー>

旧脇村邸の活用について、お茶室などがあるので活用したいという声があるようだ。現在は文化の会やほととぎす隊の皆さんが維持管理のボランティアをしてくださっている。

<秋山メンバー>

郷土資料館に、あれだけ多くのお話をしてくださる方がいながら、そのお話の内容を記した資料があればより良いのになと思った。お話を聞いていて、逗子の別荘文化など、市民が知らないことがたくさんあると思った。資料の保管場所としては、いろいろなものが押し込んであるような状態だったので、心配である。旧脇村邸は、あれほどの建物をそのままにしておくのはもったいないと思った。昨今は外国人の観光のための来日が多く、2020 東京オリンピックパラリンピックに向けて民泊などの観光振興の取り組みがなされている中、旧脇村邸のような施設が活用されていないのは疑問だ。防火設備が整っていないからなどと聞いているが、努力不足のように思う。図書館は保管場所としては狭いと思う。他市町の図書館に比べて保管場所が狭いし、蔵書も少ない。10 年前の観光ガイドブックなどあっても古くて意味がないと。調べものがあっても必要なものがない。分類の仕方など、アーカイブスを意識しての整理の仕方ではない。

<七海メンバー>

図書館には、見た限りでは、「(仮称) 逗子アーカイブス」の資料になり得るようなものはないと思う。比較的新しいものが保管されていた。

<森谷副会長>

前回の会議で、「(仮称) 逗子アーカイブス」での資料の保管場所の候補として今回の施設見学となったのだが、実際見てみて難しいか。

<秋山メンバー>

今回見学した施設は、「(仮称) 逗子アーカイブス」の保管場所としては適さないと思う。

<会長>

あのスペースでやるには難しい。

<石井メンバー>

旧脇村邸の蔵に、行政文書が入っていたと聞いておかしいと思った。

市中で散在しそうな資料を集めて保管するというのが「(仮称) 逗子アーカイブス」を検討するきっかけであったと記憶しているが、行政がそのような方向で考えているか疑問に思った。空調設備が整っていないのであれば、整えられるように予算要求をすべきである。こうした会議ではいつも現状分析で終わってしまっている。次のステップに進んでいただきたい。

<会長>

今年度の本会議の目標は、「(仮称) 逗子アーカイブス」の形を明確にしていくことである。来年度から具体的に動いていけるための「意見」をまとめていくことだ。

<森谷副会長>

前回の会議の前には池子遺跡資料館などを見学したが、市民からのさまざまな寄贈品を実際に見てみて、たとえ市民個人が重要なものだと思っても、それが「(仮称) 逗子アーカイブス」の収集の対象になるかどうかは難しいという意見があった。歴史的価値の判断などの仕方をどうしたらよいか、などの話をしてきた。

<会長>

先ほど見学してきた郷土資料館に展示されているような、古い道具などは、価値のあるものだと思う。

また、例えば逗子アートフェスティバルなどで旧脇村邸を会場として使えば素晴らしいと思うが。

<事務局（文化スポーツ係長）>

現状では、旧脇村邸は不特定多数が入場できない。逗子アートフェスティバルでは、2013年の市民企画として、参加者をあらかじめ募って使用した実績がある。

<森谷副会長>

資料の展示などに活用できればよいと思う。

<会長>

資料の対象、年代、場所について決める必要がある。特に場所については「こういうところでやりたい」という希望を出せるようにしたい。

<森谷副会長>

本来なら、総合的に資料の保管、展示、保存のための作業が、全て同じ場所で行えることが理想だ。

<事務局（文化スポーツ係長）>

寒川町の場合は、図書館設置の計画段階から、資料保管から展示、保存までの場所を計画のなかに組み込んでいたので実現できている。

<七海メンバー>

沼間中学校は、かつて高齢者施設に移行するという話があったが、そういうところは使えないのか。

<事務局（文化スポーツ係長）>

あくまで廃校になってからの話なので、難しい。

<森谷副会長>

前回の会議では、場所として池田通り沿いの空きビルを活用してはどうかという意見があった。現在観光協会の桐ヶ谷さんを中心に活用について検討されているそうだ。

<会長>

鎌倉市の場合も、図書館の2階に専用のスペースを設けて副館長と専門知識のある非常勤職員が担当している。どういう資料を、時期的にいつまでの資料を対象にするかなどを決めて行っている。鎌倉は明治維新以降の資料を集めているとのことだ。

今日の図書館の見学で、池子の返還運動のときのチラシを見させてもらったが、「(仮称) 逗子アーカイブス」の資料として価値があると思った。時期的にいつまで遡って収集するかが問題になる。

<森谷副会長>

前回の会議でも意見したが、試験的にひとつテーマを決めてやってみてはどうか。先日話をしたクラウドファンディングについて、自分が関わったものは成功した。目的を示して、きちんと核をもってこういうことをしたいという意志を示せば、資金を集めることは出来ると思った。例えば「写真を集める」など、やってみてもよいのではないか。クラウドファンディングも、資金が集まる・集まらないということだけでなく、そのような活動があることを広く周知するという意味でとてもいいと思う。

<事務局（文化スポーツ課長）>

逗子にもふるさと納税の仕組みはある。財政課が所管である。

<森谷副会長>

ふるさと納税にしても、資金を集めたい取組みについての情報発信の仕方が重要になる。

<会長>

よく、ふるさと納税のランキングなどを見るが、逗子は観光資源に乏しいので、ふるさと納税者へ返礼するものを探すのが難しいのではないか。

<森谷副会長>

ふるさと納税に関連して、商工会でも流鏝馬や武者行列を行っている理由がはっ

きりしてこなくなってきたことが課題になっている。戦後進駐軍向けに海岸で流鏑馬を行ったことが始まりではあるが、後に武者行列などが加わり、現在では、商工振興と観光振興のどちらが目的なのか、まとまっていないのが現状である。

<会長>

前回の会議では「(仮称) 逗子アーカイブス」の仕組みを考えるにあたり、専門知識のない自分たちだけではやり切れないので、道しるべになるアドバイザーが必要ではないかという意見があった。

<秋山メンバー>

早稲田大学の中野先生に打診をしたが、多忙で難しいとのことだった。

もう一人、葉山の古文書などをまとめている濱岡さんという方に打診したところ、経験談を話すことはできるということだった。濱岡さんは、葉山で古い資料の分類や保管の仕組みを使った方だ。葉山文化会館の一部に拠点を設けて行っているとのこと。忙しい方だが、予定があれば来てくださるとのことだ。

<七海メンバー>

濱岡さんは、逗子の石渡家の古文書などについても詳しいと聞いている。

<森谷副会長>

東逗子のキリガヤの蔵も、保管場所になると思うが。

<会長>

東逗子に宅地の展示場(キリガヤ)があるが、あのような場所を借りて「(仮称) 逗子アーカイブス」の展示場にできたらいい。

アドバイザーについては、現図書館長の小川さんや鎌倉中央図書館の非常勤(専門員)平田さんにもお願いできると思う。

<森谷副会長>

前回の会議で、資料を集める際周知するのに地域ミニコミ誌に協力してもらえないかという話をしたが、はまかぜ新聞には先日話をして協力していただけないかというお答えをいただいた。

<会長>

このような取組みに対する国の助成金などはないのか。

<事務局(文化スポーツ課長)>

助成金は全体事業のうちの何割かということになるので、まずは事業を形成し、予算立てをすることが必要になる。

<会長>

まずはアドバイザーをお呼びするというだけでいいか。

<森谷副委員長>

濱岡さんにお話を聞いてみたい。

<会長>

来年度から事業を行うとして、予算要求するには、いつ頃までに詳細をかためればいいのか。

<事務局（文化スポーツ課長）>

9月頃までにはまとめていただく必要がある。また次回会議では、本会議の本来目的である、逗子市文化振興基本計画の進行管理について意見をいただきたい。そのこともあるので、時期としては6月に第二回会議を開催し、お呼びするアドバイザーはお一人としていただきたい。

<秋山メンバー>

濱岡さんには、お越しいただけるかどうか打診をする。

<会長>

皆さんには、次回会議までに質問・疑問点などを明らかにしておいてほしい。

(2) その他

<会長>

続いて議題の2「その他」について、事務局より説明をお願いしたい。

<事務局（課長）>

市民委員の募集を4月22日まで行っている。引き続きお声かけをお願いします。

<会長>

以上で本日の議事は全て終了する。

3 閉 会

<事務局（文化スポーツ課長）>

次回会議については、6月8日（水）もしくは9日（木）午後を候補日として、アドバイザーの方の予定と合わせて決定する。詳細は追って連絡する。

以上で平成28年度第一回逗子市文化振興基本計画策定・推進会議を終了する。

以上